

開講式 / 第1回 災害復興 9月28日(土) 13:00~15:30 コード: 5102A

災害復興を、名取市閑上の復興を事例として、社会学の観点から考えます。閑上地区の復興は、市民にとって「身近で、よく知っている」事柄だと思いますが、宮城県のなかでも最も遅く復興した事例で、しかも、紆余曲折をへて、ようやく、復興事業が完成しました。この復興の過程を振り返り、第一に名取市の復興の事業のあり方を、第二に政府の復興事業のあり方を検討し、今後の災害復興がどうあるべきなのかを考えます。



講師

尚綱学院大学
社会部門
特任教授

田中 重好

第2回 学校避難所 10月12日(土) 10:30~12:00 コード: 5112A

近年、地震はもとより、集中豪雨による河川の氾濫、土砂崩れなど居住地近くの災害の発生が、より心配されるようになってきました。総合防災訓練などを通じて周知が図られてはいますが、避難所開設にあたって混乱が生じる状況もあるようです。そこで、学校に避難する際に留意すべき点について、ハザードマップや避難所で実際に使用されている備品や器具を確認しながら、みなさんと考えていきます。



講師

尚綱学院大学
教育部門
教授

五十嵐 誓

第3回 災害時の食事 10月19日(土) 10:30~12:00 コード: 5122A

「災害は忘れた頃にやってくる」とは、以前の話。今は、忘れる前にやってくる。日常から非日常へと変化することで、避難所ではどのような食の支援が求められるか、また、仮設住宅や復興住宅での対応など実際の関わりから得られた知見についてお話しします。特に、東日本大震災時の避難所の食事調査結果から管理栄養士など専門職の支援内容などと共に、生命維持の確保、量から質の確保、食の自立支援の取り組みについても考えます。



講師

尚綱学院大学
客員教授

高橋 睦子

第4回 避難所運営ワークショップ / 閉講式 11月9日(土) 13:00~15:30 コード: 5132A

災害時の避難所運営を疑似体験する演習を行います。避難所での「困った問題」を登場人物になったつもりで、対処方法を考えていきます。災害時の場面が自分にも起こりうることでリアルにイメージすることのできる機会となります。



講師

尚綱学院大学
社会部門
教授

渡邊 千恵子

会場 : 尚綱学院大学 地域連携交流プラザ(イオンモール名取 あおばコート3階)
定員 : 各回20名 受講料: 無料(要申込)

- ▶ 申込期間: 2024年8月22日(木)~9月20日(金) ※受付期間前の申込は無効
- ▶ 申込方法: インターネットからお申込が可能な方は右の二次元コードを読み取ってください。
E-mail、FAX、郵送の場合は以下をご記入の上、お送りください。

- ①参加希望講座名とコード
- ②氏名(フリガナ)
- ③性別
- ④生年月日
- ⑤郵便番号・住所
- ⑥電話番号
- ⑦メールアドレス
- ⑧職業
- ⑨申込理由

※実施内容は、中止・変更となる場合がございます。予めご了承ください。

↓ 申込はこちら



※初めての方は
会員登録が必要です

<お問い合わせ先>

尚綱学院大学地域連携交流プラザ 名取市杜せきのした5-3-1(イオンモール名取あおばコート3階)

電話: 022-381-1490 FAX: 022-381-1491 E-mail: kouza@shokei.ac.jp 営業時間 10:00~17:00

主催: 宮城県教育庁生涯学習課 実施機関: 尚綱学院大学

(水曜定休)